

法務省委託事業

Story

西畑 保、65歳。文字の読み書きができない。そんな彼の側にはいつも最愛の妻・餃子(きょうこ)がいた。

保は貧しい家に生まれ、ほとんど学校へ通えず大人になった。

生きづらい日々を過ごしてきたが、餃子と運命的に出会い、めでたく結婚。

しかし、その手離したくない幸せ故に保は読み書きができないことを言い出せずにいた。

半年後、ついにひた隠しにしてきた秘密が露見し別れを覚悟する保だったが、

餃子は保の手をとりながらこう告げた。

「今日から私があなたの手になる」

その言葉に、その眼差しに、保は救われた。

どんな時も寄り添い支えてくれた餃子へ感謝のラブレターを書きたい。

定年退職を機に保は一大決心し夜間中学に通い始める。

だが老齢のため物覚えも悪く、気付けば5年以上の月日が経過した頃、
一字また一字と書いては消した書くひたむきな保と、

それを見るともなく見守る餃子は結婚35年目を迎えるのだった……。



©2025『35年目のラブレター』製作委員会

有田市民会館までのアクセス

- 箕島駅より徒歩約5分。
 - 駐車場の数に限りがございます。
なるべく公共交通機関をご利用の上お越しください。
 - 近隣商業施設の駐車場には駐車しないで下さい。
- ・会場内での飲食、喫煙、写真撮影、録音、録画は固くお断りします。
飲食はロビーをご利用ください。
- ・敷地内は駐車場を含め全面禁煙となっています。
- ・会場内での係員の指示及び注意事項に従わないで生じた事故
に関して、主催者は一切責任を負いません。

